

令和8年度 食に関する指導の全体計画

島根県立江津工業高等学校

生徒の実態		グランドデザインにおける教育目標		計画の根拠	
出席率が高く、ほとんどの生徒が規則正しい生活をしている一方で、夜更かしにより十分な睡眠がとれていない生徒も存在している。規則正しい食生活等により、生活のリズムを安定させる必要がある。		教育基本法に則り、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、多様性を受け入れ、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた有為な工業人を育成する。		・食育基本法	
				・学習指導要領	
				・島根県食育推進計画	
				・島根県教育委員会の方針	
		食育における健康教育の目標		推進体制	
		将来にわたって健康な心身を保つ為の望ましい食習慣を確立する			
		食に関する指導目標		食育担当、保健主事、養護教諭、家庭科主任、保健体育主任、教務主任、学年主任がコアチームとなり推進する。	
		①【食事の重要性】食事の重要性・喜び・楽しさを理解する。 ②【心身の健康】心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。 ③【食品を選択する能力】正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。 ④【感謝の心】食べ物を大切にし、食物の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。 ⑤【社会性】食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。 ⑥【食文化】各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。			
地域・家庭の実態				家庭・地域との連携	
校区は広域であり、全域が農産物・海産物共に地元の食材が豊富な地域である。一方で、核家族化等が進み、郷土の食文化の伝承が難しい。				江工祭	
				PTA参加行事	
				ごうこうニュース	
				地域イベント	
				(生活科学部)	
				本校HP	
				インスタグラム	
				フェイスブック	
				食育だより	
発達段階に応じた食に関する指導の重点					
・食事にふさわしい話題を選びながら和やかな雰囲気です食事を楽しもうとする習慣を培う。 ・行事食や郷土料理に触れ、食の持つ文化的・歴史的な側面について考えることができる。 ・食品に含まれている栄養素や働きを理解し、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。 ・世界の食糧事情を理解するとともに、環境問題や国際社会に関心を持つことができる。 ・望ましい食習慣を理解するとともに自分の食生活の課題をみつけ、自立に向けて自ら健康を保持しようとする態度を養う。					
教科・科目で関連する学習内容	現代の国語、言語文化		教材の中で取りあげられた食文化に触れる		
	歴史総合、地理総合、公共		食糧問題、食料自給率 茶と砂糖、日本人の食生活（洋食の普及、「茶の間」「ちゃぶ台」を囲む家族像の形成、戦時中の食料不足）		
	数学Ⅰ、数学Ⅱ		1日の塩分摂取量について（食塩水の濃度計算）		
	科学と人間生活		微生物とその利用		
	英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ		「Breakfast around the World」 「Homestay」「レストラン」「カフェ」での表現		
	保健、体育		食事と健康、食品の安全性、食品衛生にかかわる活動		
	家庭総合		子どもの生活のマネジメント、食生活のマネジメント		
	情 報		データの収集と整理、データの分析		
	建築コース専門科目		住宅の計画（食事室と台所）、照明と食事室の効果		
	電気コース専門科目		調理家電		
機械コース・ロボット制御コース専門科目		鍋・釜など金属の調理道具について、身体に含まれる金属元素			
特 別 活 動		ホームルーム活動	食事と基本的な生活習慣、体作りについて指導		
		生徒会活動	「食」の模擬店（江工祭）：地元の食材活用		
		学校行事	「食」の模擬店（江工祭）：地元の食材活用、衛生指導、マナー指導		